

平成25年度保存版

# がん検診ガイド

～がん検診のご案内～

名古屋市では、がんの早期発見・早期治療を目的として、勤め先などでがん検診を受診する機会のない名古屋市民の方を対象に、市内の協力医療機関及び保健所において、6種のがん検診を実施しています。

ぜひ、この機会に受診して、ご自身の健康をチェックしましょう。



名古屋市のがん検診は一つにつき  
ワンコイン(500円)で受けられます。

いこみゃー!

がん検診

— 知っていますか? 陽子線治療 —

「がん検診受診率の向上」と「陽子線治療に関する最新かつ正確な情報の発信」を目的として、名古屋市と保険会社23社、金融機関8社との間で、がん対策に関する協力協定を締結しています。イベント・講演会の開催、がんに対するアンケートの実施などを通じて、がん検診や陽子線治療に対する関心を高めていきます。

名古屋市

# 自覚症状がないときに、 がん検診を受ける習慣が大切です。

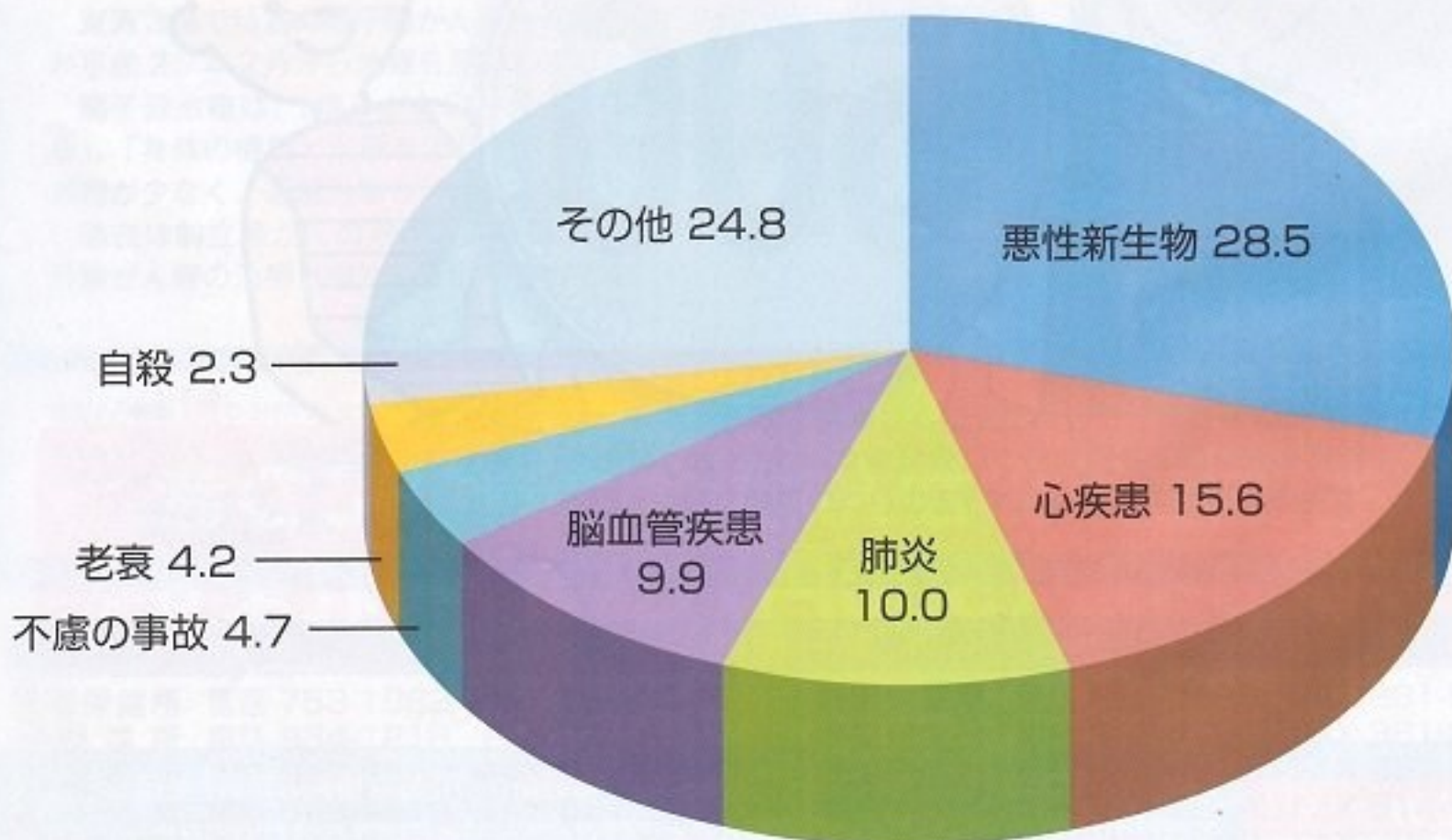
## がんによる死亡が増え続けています

わが国では、がんが死亡原因の第1位を占めるようになってから、約30年が経過しています。

平成23年の死亡者数はおよそ125万人ですが、そのうちがんによる死亡者数は約36万人で、日本人の3人に1人ががんで亡くなっている計算になります。

一方、診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、早期治療が可能となってきました。がん検診はこうした医療技術に基づき、がんの死亡率を減少させることができる確実な方法です。

## 悪性新生物(がん)の死亡者に占める割合(%)



平成23年人口動態統計より

## がん検診の目的

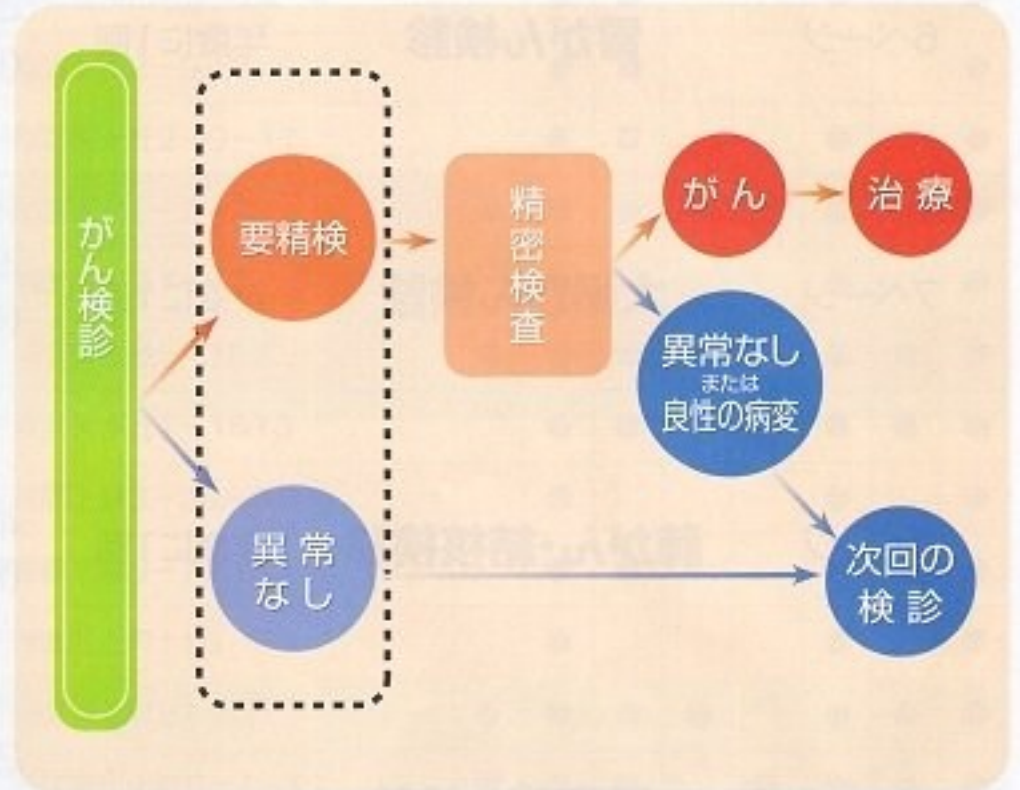
がん検診の目的は、無症状のうちに「がん」を早期に発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることです。

早期のがんは、無症状の場合が多く、がん検診を定期的に受けることが大切です。

がん検診は、受診者に対して、「要精検」と「異常なし」に判定します。「要精検」とされた人を精密検査へ導き、「がん」が発見された場合は、治療へとつなげるものです。

精密検査や治療を受けない場合は、早期発見、早期治療のチャンスを逃すことになりかねません。

名古屋市では、受診された方の検診結果等の情報を把握・分析し、今後のがん対策の推進に役立てています。



## がんを防ぐための新12か条

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1条 たばこは吸わない          | 7条 適度に運動                |
| 2条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける | 8条 適切な体重維持              |
| 3条 お酒はほどほどに          | 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療      |
| 4条 バランスのとれた食生活を      | 10条 定期的ながん検診を           |
| 5条 塩辛い食品は控えめに        | 11条 身体の異常に気が付いたら、すぐに受診を |
| 6条 野菜や果物は豊富に         | 12条 正しいがん情報でがんを知ることから   |

(資料：財団法人 がん研究振興財団より)

**自覚症状がある方は検診の対象者とはなりません。  
速やかに医療機関を受診されることをおすすめします。**

# 平成25年度がん検診の内容

| 参照ページ | 事業       | 受診回数   | 対象  |
|-------|----------|--------|---|
| 6ページ  | 胃がん検診    | 年度に1回  | 40歳以上の市民<br>(昭和49年3月31日までに生まれた方)                      |
| 7ページ  | 大腸がん検診   | 年度に1回  | 40歳以上の市民<br>(昭和49年3月31日までに生まれた方)                      |
| 8ページ  | 肺がん・結核検診 | 年度に1回  | 40歳以上の市民<br>(昭和49年3月31日までに生まれた方)                      |
| 9ページ  | 子宮がん検診   | 2年度に1回 | 20歳以上の女性市民(平成6年3月31日までに生まれた方)で、前年度に本市の子宮がん検診を受診していない方 |
| 10ページ | 乳がん検診    | 2年度に1回 | 40歳以上の女性市民(昭和49年3月31日までに生まれた方)で、前年度に本市の乳がん検診を受診していない方 |
| 11ページ | 前立腺がん検診  | 年度に1回  | 50歳以上の男性市民<br>(昭和39年3月31日までに生まれた方)                    |

※骨粗しょう症検診、歯周疾患検診も実施しています。詳しくは13ページをご覧ください。  
 ※がん検診と一緒に特定健診を受けましょう。名古屋市国保特定健診の協力医療機関は18～20ページをご覧ください。

## 自己負担金免除該当者

次に該当する方は、自己負担金が無料になります。

- ①70歳以上の方(今年度70歳になられる方を含まず)
- ②生活保護世帯の方…「生活保護受給証明書(原本)」または「介護保険料納入通知書等(第1段階のもの)の写し」を提出
- ③市民税非課税世帯の方…「市民税非課税確認書(保健所で発行)」または「介護保険料納入通知書等(第2・第3・第4段階のもの)の写し」を提出
- ④障害者、ひとり親家庭等医療費助成制度受給者…各医療証を提示
- ⑤福祉給付金受給者…資格者証を提示
- ⑥中国残留邦人等に対する支援給付受給者…本人確認証の写しを提出

## 自己負担金:検診ごとに500円

| 実施場所               | 内容等   |
|--------------------|---|
| ●市内の協力医療機関<br>●保健所 | ①問診<br>②胃部エックス線検査                                     |
| ●市内の協力医療機関<br>●保健所 | ①問診<br>②免疫便潜血検査(2日法)                                  |
| ●市内の協力医療機関         | ①問診<br>②胸部エックス線検査<br>必要な方には喀痰細胞診                      |
| ●市内の協力医療機関         | ①問診<br>②視診<br>③内診<br>④頸部細胞診検査<br>問診の結果、必要な方には体がん検診も実施 |
| ●市内の協力医療機関<br>●保健所 | ①問診<br>②乳房エックス線検査(マンモグラフィ)<br>③視診<br>④触診              |
| ●市内の協力医療機関         | ①問診<br>②PSA検査   |

◎検診の結果、精密検査が必要となった場合や病気が発見された場合などの検査料、治療費は医療保険扱いとなり別途料金が必要となります。

◎検診の結果は、今後の検診事業に役立てるため、名古屋市に情報提供されます。

◎また、精密検査が必要となった場合は、その結果について、名古屋市よりご本人及び医療機関にお問い合わせすることがあります。

# がん検診の申込方法



ご希望の検診にあわせて受診する医療機関をお選びください。

(協力医療機関一覧→18ページ～20ページ)

胃・大腸・肺・子宮・乳・前立腺がん)

(保健所→17ページ 胃・大腸・乳がん)



選んだ医療機関へ直接電話等で「名古屋市の〇〇検診を希望」と伝え、予約します。



予約した日時に、保険証など、住所、生年月日分かるものを持って受診してください。



一つの医療機関で受診できなかった検診については、他の医療機関にて受診可能です。

◎検診の内容、協力医療機関については名古屋市のホームページからもご覧いただけます。

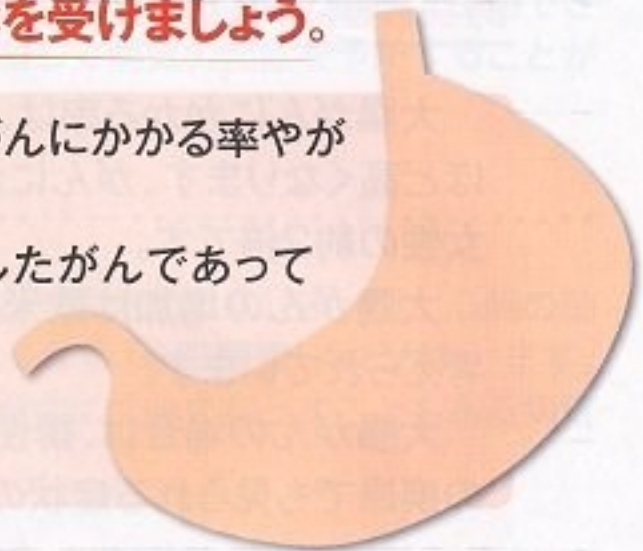
名古屋市のがん検診に関するホームページは…

# 胃がん

**男女ともに、40歳以上は年に1回、胃がん検診を受けましょう。**

40歳以降になると、男性のほうが女性よりも、がんにかかる率やがんによる死亡率が高くなってきます。

胃がんの場合は、早期はもちろん、かなり進行したがんであっても、全く症状のない場合が多く見られます。ただし、胃の中に潰瘍(ただれ)ができた場合は、胃痛などの症状があらわれやすくなります。



## 名古屋市の胃がんの検診方法(胃部エックス線検査)

バリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲み、エックス線で胃の形や粘膜を観察します。胃がんだけでなく、良性の潰瘍やポリープも発見できます。

なお、名古屋市の胃がん検診では、内視鏡検査(胃カメラ)は実施しません。



(資料:がんの統計2005)

がんは早期に発見するほど、生存率は高くなります。早期胃がんの5年生存率は91.2%となっています。

**こんな症状に注意!**

- 痛み
- 出血
- 胃部不快感



このような症状がみられる場合は、検診を受けるのではなく、速やかに医療機関で診察を受けてください。

# 大腸がん

**男女ともに、40歳以上は年に1回、大腸がん検診を受けましょう。**

大腸がんにかかる率は、50歳頃から増加し始め、高齢になるほど高くなります。がんにかかる率や死亡率は、ともに、男性が女性の約2倍です。

大腸がんの増加は欧米型の食生活へ変化したことが原因と考えられています。

大腸がんの場合は、排便に関する症状が多くみられますが、血便などは良性の疾患でも見られる症状のため注意が必要です。

## 名古屋市の大腸がんの検診方法(便潜血検査)

大腸にがんやポリープなどがあると、出血がみられることがあります。検便により、大腸内の出血の有無を調べます。精度を上げるため、2日分の便を検査します。痔や、歯ぐきからの出血でも陽性になることがありますが、陽性と判定された人は、必ず精密検査を受けるようにしましょう。

なお、名古屋市の大腸がん検診では、内視鏡検査は実施しません。

### こんな症状に 注意!

- 血便 ●便が細くなる
- 残便感 ●腹痛
- 下痢と便秘の繰り返し
- 貧血 ●体重減少  
など



このような症状がみられる場合は、検診を受けるのではなく、速やかに医療機関で診察を受けてください。

# 肺がん

**男女ともに、40歳以上は年に1回、肺がん検診を受けましょう。**

肺がんにかかる率は、40歳代後半から増加し始め高齢になるほど高くなります。男性の方が女性よりも高く女性の3倍から4倍にのぼります。

タバコは肺がんの原因として大きなものです。禁煙を心がけるとともに、タバコを吸う方は特に検診を受けるようにしましょう。

がんが小さいうちは、症状があらわれにくい傾向があります。また、ある程度以上進行してから発見されると完治が困難になると言われています。



## 名古屋市肺がん(結核)の検診方法(胸部エックス線検査と必要な方に喀痰細胞診)

胸部エックス線検査では、肺全体のエックス線撮影をします。

タバコを長い期間、多く吸っている方や血痰のあった方には喀痰細胞診も行います。この検査は、痰を採取し、気管支などから混じり出るがん細胞の有無を調べるものです。

### こんな症状に注意!

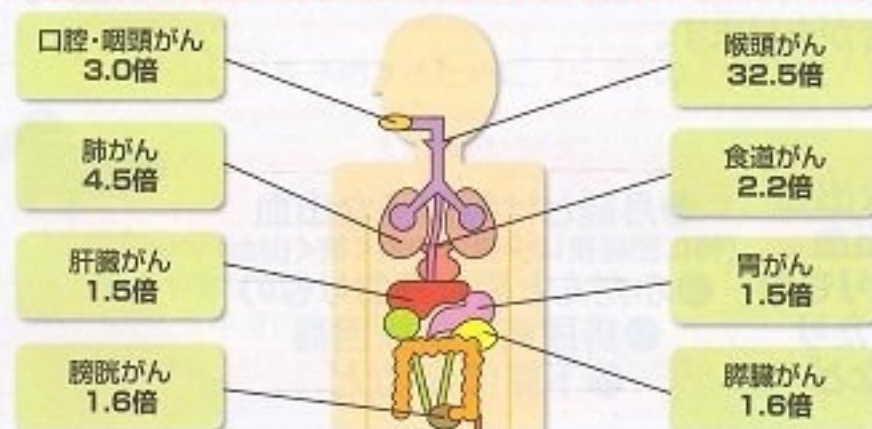
- なかなか治りにくいせきや胸痛
- 呼吸時のゼーゼー音
- 息切れ
- 血痰
- 声のかれ
- 顔や首のむくみ など

このような症状がみられる場合は、検診を受けるのではなく、速やかに医療機関で診察を受けてください。

### たばこがんとがんの関係をご存知ですか?

たばこは全身のほとんどのがんの発生と関わりがあります。

非喫煙者と比較して喫煙者(男性)のがんによる死亡は何倍高いか



※ 平山雄、1990(厚生労働省ホームページ)より抜粋



毎月22日は、「スワンスワンの禁煙の日」です。数字の2を白鳥、スワンに見立て、禁煙について考える日として制定されました。